



飛騨っ子

令和8年7月17日発行 NO4
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111（内線235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

保護者のつながりをつくる

< 通信【飛騨っ子】 >

□ 高山市立久々野小学校 学校行事参加型 + サロン型

○期日：令和8年6月22日（月） ○対象：全校の親子 ○主催：PTA 学級委員会

○テーマ「親子でともに成長 話そう聞こう家族の時間」（4月・6月・12月）



< ① 親子健康教室 >



< ② 学級懇談会 >

< 日程 > 5年生

- ① 13:00～ 授業 親子健康教室
- ② 14:00～ 学級懇談会
- ③ 14:30～ 子育てサロン（交流会）

毎年、久々野小学校では「テーマ」をもとに、子育てについて交流する時間を位置付けています。学級懇談会では、担任の先生から学級や一人ひとりの子どもたちの成長や学びの広がりについて紹介がありました。先生が紹介する1つ1つのエピソードにうなづき、笑いでつながれる保護者の姿が素晴らしい！

また、「家庭科で学んだことを活かして、家で卵を茹でていました。」との発言も聞かれ、学校と家庭が日常的につながる関係性が素晴らしいと感じました。

お父さん
絶対やらん
ボドゲ買う

お母さん
ごはんがおいしい
嬉しいな

野球では
いつも応援
ありがとう

自慢だよ
いつもがんばる
お姉ちゃん

○親子でともに成長
「話そう聞こう親子の時間」
○国語の授業
日常を十七音で表そう
テーマ 家族

子育て交流会を楽しく
する子どもたちの俳句



< ③ 子育てサロン 2G >

< 交流の声 >

- ・今日、親子健康教室を体験し、子どもとしっかり対峙して話をしていないなと感じました。
- ・男の子と女の子では話す内容が異なるので、お父さんと役割分担をして、1対1で話せる空間があるとよいなと感じています。

第1章 家庭教育学級について

(1) 家庭教育学級とは

家庭とは 愛情による絆で結ばれた場
常に子どもの心の拠り所となるもの
子どもが生きていくための基礎を築く場

家庭教育とは すべての教育の出発点
子どもの健全な身体と人格の発達のために、親またはそれに準ずる大人が子どもに対して家庭で行う教育

家庭教育学級とは “子育て”や“しつけ”について学んだり悩みを話し合ったりする場
家庭教育のあり方を学び、自らを振り返る場

子どもの健全な身体と人格の発達を援助するのが、大人の役割です。発達の上は感情の安定であり、土台がしっかりすると、自主性や協調性、知能・体力が育ちます。そして、それぞれの育ちの段階には大人の働きかけが必要です。

「教育学級では、各段階で子どもにどのように働きかけるかに家庭教育に活かせる事例を扱います。」

QRコード

Link

配布資料 岐阜県家庭教育学級運営マニュアルより

PTA の家庭委員長さんが『今年度、家庭委員会の役員となり、5月に開催された家庭教育学級等リーダー研修会に参加し、これまで学校から配布される家庭教育応援通信【飛騨っ子】や約束運動のチラシが、家庭教育（学級）を進める上で大切な情報源（資料・ヒント）になっていることが理解できました。』と、話してくださいました。

一緒に参加していた教頭先生と相談し、6月中旬から開催されるPTA 授業参観・学級懇談会に合わせ、担任の先生から学校の様子等の話の後、子育てについて交流ができる時間をつくりました。

委員長さんや教頭先生が『新宮小学校（家庭委員会）として初めての試みで、どのくらいの方々が参加されるかまた交流会がどうなるのかとても不安です。』と、話されました。

しかし、交流会が始まると予定の時間が過ぎても大盛り上がり。声が弾み笑いが広がる… 話したい！ 共有したい！ つながりたい！… 保護者みなさんのそんな気持ちが伝わってきました。



<話題提供 動画視聴（1・4・5年生）>



<1年生 グループ交流>



<4年生 グループ交流>



<5年生 グループ交流>

- ・子どものことで少し心配しているようなことも、他の親御さんと同じように悩んだり考えたりしてみることがわかりました。それがわかったことで、『今の時期の悩みなんだな』と笑って話すことができました。
- ・ふだん同じ学年の保護者の方とお話する機会が無く、いつも家庭でモヤモヤしていることなどをお話して、「うちもです～」とお話できるだけでも気持ちが楽になりました。（1年生 保護者）

- ・各家庭での普段の様子を聞きながら、「一緒だー!!」とか「そんなことができるの?」「そんな関わり方があるんだ」と気づくことがあり、『私だけじゃないんだな』と感ずることができました。同じ年齢の子どもをもつ親同士で、ざっくばらんに気軽に話せたことが良かったです。（4年生 保護者）

- ・日頃、子どものことをどう思っているかななどを共有でき楽しかったです。思春期って反抗期って難しい!
- ・子どもの口数が減り学校の様子がわからないため、お母さん同士で交流できて良かったです。
- ・学年が上がってきて、『みんな同じような悩みをもっているんだな』と感じ、なんだか安心しました。（5年生 保護者）

<委員長さんより>

家庭委員として、初めて家庭教育学級という言葉を知り、「皆さんと共有したいな」と思いました。また、教頭先生や先生方のおかげで開催することができ、とても良かったです。短い時間だけど、他の親さんとお話することができました。同じ悩みや他の子の宿題の方法など具体的なお話なども聞くことができ、とても良かったです。

- 下呂市家庭教育支援チーム（赤ちゃんカフェ・子育てカフェ） 支援チーム × 糸でんわの会
○期日：令和8年6月23日（火） ○会場：萩原町星雲会館 ○対象：3歳までのお子さん

下呂市家庭教育支援チーム主催 子育てカフェのお知らせ
～糸でんわの会による読み聞かせ～
朗読ボランティア「糸でんわの会」の皆さんによる読み聞かせを開催します！
親子で素敵な時間を過ごしましょう！
2026年6月23日（火）10時～11時30分
※受付は9時45分から
会場：星雲会館 悠々ホールAB（下呂市萩原町星雲116-1）
対象：3歳までのお子さん（令和5～8年度生まれ）と保護者
参加費：大人1名100円（手作りお菓子、ドリンク1杯付）
申し込みが必要です。下記の内容をgenso-shien@gmail.comまで返信ください。
①タイトルに「6月子育てカフェ」と入力してください。 子育ての悩みや疑問を話しませんか？
②お名前（ふりがな）、携帯電話番号 初めての方もお気軽にご参加下さい！
③お子さんのお名前（ふりがな）と生年月日 子育ての悩みや疑問を話しませんか？
④お住いの地域 子育ての悩みや疑問を話しませんか？
※当日は雨天になる場合もあります。メールの返信は2～3日かかる場合があります。返信がない場合はお手数ですがご連絡をお願いいたします。
子育てカフェ問い合わせ先
〒497-0001 下呂市役所 社会教育課

<家庭教育支援チーム>

- 平成22年度：活動開始
- 令和元年度：文部科学大臣表彰受賞
- 下呂市内5会場にてカフェを開催（令和8年度 26回開催予定）



メンバーによる手作りケーキ

糸でんわの会 下呂市小坂町を拠点に、地元の子どもや高齢者に絵本や紙芝居の「読み聞かせ」を行っています。



糸でんわの方々が「誰かのために自分の時間を使うことが楽しく、自分の喜びとしています。」と話してくださいました。
（社会教育課 担当）

この日は、6組の参加がありました。（*アンケート参考）

支援チームと地域の活動団体が連携し、支援の内容を膨らます協働の関係（仕組）が素晴らしいです。参加者にとっては、楽しみが増えた同じ目的を持って活動している両者にとっては、良いつながりができます。正しく、地域みんなで子育て！です。



< 読み聞かせ：糸でんわの会 >

この日は、糸でんわの方々より保護者のリラックスタイムとして、5冊の絵本をもとに、静かに話を聞いたり親子のスキンシップを大切にしたりしました。

支援チームには、チーム職員以外にスタッフ職員や託児ボランティアの方々が存在しています。この協力体制が、年間26回ものカフェを開催させているのだと感じました。

リラックスタイムが終わると、わが子を託児ボランティアの方に預けケーキを食べながらの子育て交流タイムが始まります。ゆっくりたっぷり子育てについて話ができるのは、このチームの強みです。



< 子育て交流タイム >

カフェが終了すると、関係者皆さんが輪になりアンケートをもとに振り返りを行ない、次回のカフェに向け意欲を高めていました。

<参加者の感想（初参加者）>

- ・みなさんが工夫や努力をしながら子育てされていることが伝わってきて、尊敬や共感また仲間のような感覚を抱けてとても嬉しかったです。特に、自分の悩みについてアドバイスをいただけたことが嬉しかったです。

* <子育てカフェ アンケート>（複数選択可） **数字：本日の回答**

- Q.1 本日の感想
- Q.2 特に良かったこと
- Q.3 改善してほしいこと・気になったこと・今後やってほしいこと
- Q.4 子育てカフェの参加回数は？ ・初参加（3） ・2回以上（3）
- Q.5 子育てカフェを最初に知ったきっかけは？
・知人、友人（1）・児童館・支援センター・健診・赤ちゃんカフェ（1）・チラシ（4）・その他（ ）
- Q.6 チラシは、どこで受け取りましたか？
・郵送（3）・児童館・支援センター（1）・健診（2）・赤ちゃんカフェ（1）・その他（ ）

丁寧なアンケート調査が、カフェを持続可能にしています。

情報（チラシ）が、どのように対象者の手元に届いているのかを把握することは、とても大切なポイントです。

- 下呂市たけはらこども園 「親子で楽しむ触れ合い時間 木育教室」 行事参加型 + 親子体験型
 ○期日：令和8年6月25日（木） ○主催：たけはらこども園 ○対象：年長の親子
 ○講師：森のなりわい研究所 代表理事・所長 やまんじ隊長



やまんじ隊長 2004年にフリーの森林研究者として、森のなりわい研究所を設立。調査研究・講演・フィールド活動を通じ、「森の魅力」を伝える活動を行っている。下呂市萩原町在住。



< やまんじ隊長の楽しいトーク >



<やまんじ隊長からの問題 親子学習>

3つの瓶（A・B・C）には、3種類の樹木（1・2・3）の木片が入っています。

まず、3つの瓶から出る香りを覚えましょう。3種類の樹木は、香り成分（エクス）が全く異なります。

次に、3種類の樹木（木片）を回しますので、どの瓶の香りがどの樹木のものを当てましょう！

<やまんじ隊長からの回答 親子学習>

Aの瓶の香りは、3の樹木です。くろもじと言います。Bの瓶の香りは、2の樹木です。しろもじと言います。

Cの瓶の香りは、1の樹木です。みずめと言います。みなさん、合ってたかな～。

家のまわりの植物（樹木・花）でも、親子で試してみてくださいね！

○ 園長先生からのメッセージ

『共働きをしている保護者の皆さんに対して、親子の距離が離れてしまわないように、意図的に親子が一緒に触れ合える時間（参観 → 参加）をつくることやその時間がきっかけとなり、家庭においても親子の会話や活動が広がっていくことを強く願っています。』

『今日の活動は、これまでは園児だけを対象に開催してきましたが、初めて親子学習として開催しました。』

やまんじ隊長の楽しいトークに、親子はもちろん職員のみなさんも引き込まれていきます。職員の方が「隊長のお話は、教えるではなく共有するという姿勢が素敵です。」と言われました。なるほどです。

○ やまんじ隊長からのメッセージ

『私たちの周りには、いろいろな樹木があります。樹木は、葉っぱの形から見分けることができます。でも、目で見なくても香りから見分けることができます。五感を刺激し豊かな心で、身の回りの自然を楽しめるといいですね!』

おもしろくて、わかりやすく、試してみたい親子学習。こども園の取組が、家に帰ってからの会話や活動につながっていく様子が目に浮かびます。



どんな香りがするの？



これは、Bの香りかも！

今年度は、6・10・12月に「親子で楽しむ触れ合い時間」が計画されています。次回も、とても楽しみです。



<流木アート>

この日は、親子学習の後、親子で流木を活用した飾り物を作成しました。